

佐世保更生保護女性会創立75周年記念事業

祭神供子肉庄

日 時 2025年**11月30日** 日
開場 13:00 開演 13:30

会 場 佐世保コミュニティセンター 5階ホール (全席自由)

入 場 料 一般 1,000円 子ども (小学生～高校生) 500円

チケット購入
問 合 せ 先 TEL 090-1349-8242 (実行委員会事務局)

文献によれば、「安永7年(1778年)に社家衆団(しゃけしゅうだん)による神楽の奉納が行われた」という記録がある由布市の庄内神楽。今のような形として始められたのは、明治の初期に一般の氏子などによる同好会的神楽舞集団が組織されるようになり、豊後神楽発祥の地から伝承されたものといわれています。現在、由布市庄内町には、子供神楽座を含めて12の神楽座があり、大別して阿蘇野地区系と庄内地区系の2流派に分けることができます。前者は、伝統を重んじた神楽であり、後者は出雲神楽の長所を取り入れた娯楽性の高いものといえます。

両派とも里神楽(庶民の神楽)として古くから伝承され、比較的早いテンポにのって勇壮に、時にはユーモラスに舞い継がれ、人気を博しています。庄内地区系の神楽を継承する庄内子供神楽は、青少年の健全育成と非行防止、庄内神楽の後継者育成を目的として、昭和51年3月に結成された庄内神楽12座のうち唯一の子供神楽です。

現在、庄内町に在住する小中学生13名で構成されており、日々練習に励んでいます。

地域の伝統芸能を継承し、発展させていく庄内子供神楽にご声援をよろしくお願いします。

～演目紹介～

一、国司くにつかさ

日本の神話における出雲地方のために降降りする神話を題材とした舞であります。

たかみむすびのみこと ふつぬしのみこと たけみかづちのみこと おお
高皇産靈尊が経津主命と武甕槌命を遣わし、大
くにぬしのみこと
国主命と国譲りについて談判をし、大国主命は
おんことしろぬしのみこと
御子事代主命と相談して国譲りを行う勇壮な舞
です。



二、貴見城きけんじょう

わだつのみや
古事記・海神宮・日本書紀・海幸山幸を題材としたもので、
ほすせりのみこと ひこほでのみこと
火酢芹尊と彦火々出見命という兄弟神の物語です。

二人はそれぞれが持っていた釣竿と弓矢を交換しました。弟神である彦火々出見命が兄神にあたる火酢芹尊の釣竿で魚を釣っていたところ、釣鉤をとられてしまい別の釣鉤を作って兄神に返しましたが、元の釣鉤の返還を強要され、大変困っているときに、かいしん海神の助けで貴見城を訪れ釣鉤を探し出すという舞です。



庄内子供神楽愛好会

青少年の健全育成と非行防止、庄内神楽の後継者育成を目的として、昭和51年3月に結成され、各神社での祭典や地域のイベント等、県内外を問わず年間約60回程度の公演を行っています。これまでの活動が認められ、平成30年に大分県教育奨励賞、大分県青少年育成県民会議会長表彰を受賞することができました。地域の伝統芸能を継承し、発展させていく庄内子供神楽にご声援をよろしくお願いします。

